

FRP製 新型壁高欄 ハンドホール〈HH-FE(FRP)〉 ^{フラップ} **FuRaP**

コンクリートの充填性・ひび割れ耐性・強靱性、作業性を向上。

Fiber(繊維)
ultimate(究極)

Round(丸い)
airy(空気の様に軽い)

Prevention
(予防保全)



 高田機工株式会社

中日本高速道路(株)・
高田機工(株)の共同開発製品

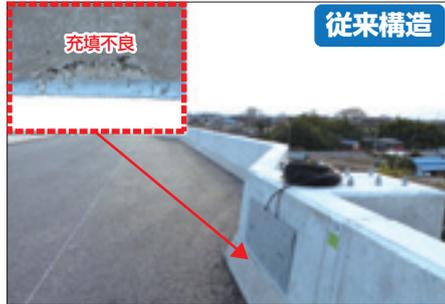
特許出願中

FRP製 壁高欄ハンドホール フラップ FuRaP

Fiber ultimate Round airy Prevention

下面側への勾配と空気抜き孔を多数設けることで、壁高欄のコンクリート充填性を向上。

■施工試験による充填性の確認状況



●コンクリート施工直後



●完成後のコンクリート充填状況の確認



充填性・配線作業性の向上。

コンクリート充填試験によって空気抜きの孔間隔や孔径を決定し、優れた充填性を確保。また、内部の白色系ゲルコート塗料による明色仕上げで配線作業性を向上させました。



壁高欄ハンドホール角部のひび割れ抑制を考えた曲面設計。

新型壁高欄ハンドホール「FuRaP」では、硬くて鋭角な鋼製の構造から、曲面設計のFRP構造を採用することで、ハンドホール・コーナー部からのコンクリートクラックが発生しにくい構造としました。



防護柵機能を向上させることで、壁高欄コンクリートの断面欠損を軽減しました。

